26

縣當局が揮上げた

物價調節の大鉈

遂に血を見るかどうか
暴利の取締と共に小賣商人の保護政策も必要

小賣商人の見た物價調べ

物價調節の聲が矢釜しい、調節位では間温るい、物價引下げたと云ふ叫びが一層強い、福岡縣當局でも此際何とかして物價の引下げを促せねば社會問題として由々敷き現象を呈しないとも限らぬと云ふ見地から先般來『買物に就ての投書』を求むると共に米の買出しや日用品の買出しを實行して値段の比較研究を續けて居る、中には突飛な高値を暴利つて居る商店があるので近く不相當の値段と認められる商店には

一應警告を發することにしたが何しろ小賣商人の方は夫々の理屈を並べて暴利ではないとの辯疏をして居るので當局でも商賣人の意見をも尊重し且つ購買者側の意向をも訊して最も公平なる處置を執ることにして居る例の各種組合に對する標準値段撤廢の要求も多少小賣人間の反感を買つた傾きがあるが當局では『一二の反對者があつたとて

大局から見て必ずしも不都合な處置ではないと信じたから標準値段撤廢を求めたのだ』と云つて居る、石垣產業部長は『今度の物價調べに對しては世間の惡評を充分に聞き又充分に調査する考へである、標準相場を撤廢した結果、相場が亂調子になつて高低が甚だしいと云ふ批難もあるが、それでも好いぢやないか、高い値段の品物は自然に賣れなくなる、安い品物はどし〳〵賣れるそこに

競爭が起る競爭が起れば自然に市價が安くなるのだ、元來市内の商賣は大きな聲賣りと見て差支ない、そして多く買ひ得らるゝのが其の時分の最も安い値段と見る外はない』と云つて大いに値段の競爭を希望して居た、申告書のやうなものを全市に配つて買物の値段を聞き合せて居る產業部には毎日投書が山の如く來る、それを一々整理するのにも大した手數を要するが振り上げた大鉈は血を見ずして納まるべくもない有樣に市内の

小賣商人は少しく氣味を惡くしかけた、商業會議所では之を見て『物價調べもよからう暴利の取締りもよからうがその一面には小賣商人に對する保護政策も必要だ、例へば物品仕入に就ての便利を與へるとか、組合を指導するとかの方法も執つて貰ひたい』と云つて居る成る程產業部は一概に小賣商人を虐めるだけが能でもあるまいから相當に

小賣商人の境遇も認めることにならねばなるまい小賣商人の或一人は『今度縣が行つた物價調べは餘りに姑息で小賣商人虐めと云ふより外はない、そんなことよりも取引制度なり進んでは產業政策なりに着眼して共榮共存の道を講じて貰ひたい』とすら云つて居た兎も角當局が振り上げた物價調査の大鉈がどう納まるか今暫くの問題だが更に

家賃調べを實行しやうとするのも此頃の一仕事で之に就ても目下どし〳〵投書が舞込んで社會課に山積されてある。『之れはかりは標準が判らないのでどうしやうもない、がしかし家賃其のものは元來金利や建築費を合算してかけられるものでない、家が建ぬ地代が脱る、それで建築費や金利に當てゝ充分だ、家賃と云ふは家の

修繕費位で澤山だ』との見解を下すものさへあるので縣では近く家主大會を開いて其の意見を訊さうかとの意向もあるらしい。